

平成四年二月一日発行

会報

第二十四号

創立五十周年記念増大号

社団法人・岩手県鍼灸按摩マッサージ指圧師会



式辞をのべる理事長



開式の辞をのべる実行委員長



祝辞を述べる小沢一郎議員秘書と
御出席の来賓の方々



講演中の鈴木繁雄先生



閉会の辞をのべている副理事長とボランティア



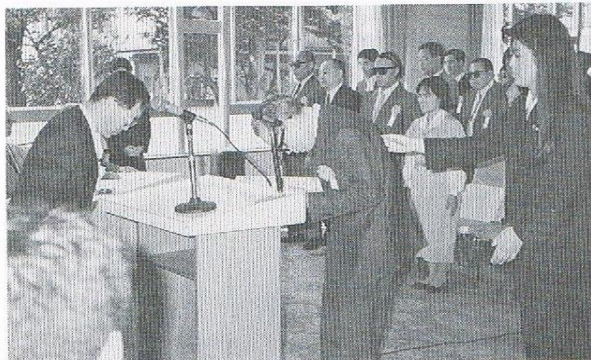
50周年祝賀会



祝賀会



全鍼師会会長賞をうけた受賞者の横顔



表彰状を受与する理事長



50周年記念表彰式



50周年記念表彰者



業会の今後の躍進を希い万才三唱



代議員総会であいさつする全鐵師会長



代議員総会の議長団



代議員総会の本部席

会 報 第二十四号 目 次

理事長挨拶	下佐 征昭	1
役員名簿		1
創立五十周年記念式典実行委員名簿		2
記念式典スローガン		2
沿 革		2
（社）岩手県鍼灸按摩マッサージ指圧師会 創立五十周年記念式典（誌上再現）		3
開会の辞	実行委員長 鞠子 栄	3
式 辞	理事長 下佐 征昭	3
受賞者のプロフィール		
（社）全日本鍼灸按摩マッサージ師会 会長賞		4
（社）岩手県鍼灸按摩マッサージ指圧師会 理事長賞		5
表彰状授与		5
来賓祝辞		
（1）衆議院議員（本会顧問）	小沢 一郎 様	6
（2）岩手県環境保健部長	佐柳 進 様	7
（3）岩手県立盲学校長	野沢 貞男 様	7
（4）（社）岩手県盲人福祉協会理事長	桜井政太郎 様	8
祝電披露		9
謝 辞	受賞者代表 加藤 敏勝	9
記念講演		
（社）全日本鍼灸按摩マッサージ師会 東北ブロック長 鈴木 重雄 様		10
閉式の辞	副理事長 北峰 忠志	11
岩手県鍼灸按摩マッサージ指圧師会 歴代会長名簿		12
平成三年度 庶務日誌	総務部長 中村 哲夫	12
平成三年度 通常総会報告	事業部 千葉 健一	13
平成三年度 保険部報告	副理事長 北峰 忠志	15
平成三年度 全国師会長会議報告	理事長 下佐 征昭	16
平成三年度 東鍼連第二回理事会報告	理事長 下佐 征昭	18
平成三年度 東鍼連代議員総会報告	事業部長 鞠子 栄	19
厚生大臣指定講習会受講者数と時間割		20
閉講式謝辞	副理事長 北峰 忠志	22
三療学術大会レポート	岩手代表 高橋 久喜	22
学術研修会報告	副理事長 山本 孝一	25
宮古下閉伊師会からのお知らせ	師会長 中村 強真	26
各師会の活動状況及び会員の消息		26
盛岡・花巻・北上・和賀・胆江・一関・東磐 気仙・遠野・釜石・宮古下閉伊・久慈・県北		
編集後記	事業部長 鞠子 栄	38
広 告		

挨拶

理事長 下佐 征昭

会員の皆様には、益々ご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。

平素は会の業務につきご理解とご協力をいただき厚く御礼を申し上げます。

さて、今年度をかえりみますと、創立五十周年にあたり平成三年五月十九日盛大のなかにも厳粛な記念式典、祝賀会を挙げていたしましたし、七月七日、八日の二日間にわたり本県主管で東北鍼灸按摩マッサージ指圧師会を開催し、東北各地から業友が集い意義ある大会でもありました。

また、何と云っても特筆されるのは、あはき法の改正により、現職教育として厚生大臣指定講習会を開催したことである。本会から私と山本孝一副理事長が代表世話人となり、各団体（本会、全病理、盲協、鍼灸師会、理教連）の代表で実施協議会を組織し運営いたしました。受講者数は三百五十三名で本会から五十九名が参加し、五十七名が修了証を受けました。四月から毎月業を休み研鑽を深めた皆様に、受講日ごとに頭の下がる思いで、今ここにあらためて感謝申し上げます。御苦勞様でした。

多忙な一年間を皆様のご協力により無事終了することが出来そうです。会務報告をしながら挨拶いたします。

社団法人岩手県鍼灸按摩マッサージ指圧師会 役員名簿

平成三年五月十九日改選（敬称略）

顧問	衆議院議員	小沢 一郎
顧問		菅野 長治
顧問		石川 文治
理事長		下佐 征昭
副理事長	（一関師会長）	北峰 忠志
副理事長	（県北師会長）	山本 孝一
監事		阿部 禎夫
監事		篠 政喜
常務理事		中村 哲夫
常務理事	（花巻師会長）	鞠子 栄
常務理事	（盛岡師会長）	猪ノ口富蔵
常務理事		三沢 五郎
常務理事		菊地 安夫
常務理事		千葉 健一
理事		八重樫昭則
理事		高橋 等
理事		熊谷 勝
理事		星 千治
理事		中村 強真
理事		佐々木 至
理事		菊池 守
理事		岩本 芳弘

社団法人岩手県鍼灸按摩マッサージ指圧師会 創立五十周年記念式典実行委員会名簿

委員長 鞠子 栄
三沢 五郎
猪ノ口富蔵
中村 哲夫
阿部 禎夫
高橋 本行
小野 一茂
篠 政喜

記念式典スローガン

自らを高め福祉社会に貢献しよう

沿 革

長い伝統と歴史の中に培われ、目覚ましい治療を誇り、民衆とともに歩んできた我が国の鍼、灸、按摩業が、これまで二度の消滅の危機に襲われました。第一回目は明治四年の医療制度改革であり、第二回目は三療存廃最大の危機であったマッカーサー司令部 (GHQ) による昭和二十一年の廃止指令でありました。この危機に対し理解ある学識者と業友が漢方医療の存続に情熱を傾げ、撤回運動を行いその結果紆余曲折を経て昭和二十六年に「あん摩師、はり師、きゅう師、柔道整復師法」が施行され、従来の営業法から一変して身分法が確立されました。今日、三療は東洋医学の一分野として国民から再認識されております。

岩手における三療の組織化は、大正九年頃に「業和」または「友和」団体が出来、それに引き続き県内各地の団体を組織して岩手県鍼灸按摩マッサージ同盟会が結成されました。その後同盟会を解散して、昭和十六年十二月十六日に県下十一地区の業者の代表が盛岡で創立総会を開催し、岩手県鍼灸按摩マッサージ師会連合会が発足しました。昭和五十三年八月二十六日には念願の社団法人が許可され現在に至っております。

岩手県鍼灸按摩マッサージ師会では、このような歴史の変遷の中で、三療の振興発展を図り、学術の

向上並びに国民医療の一翼を担い、保健衛生に寄与することを目的として活動を続けております。

社団法人岩手県鍼灸按摩マッサージ指圧師会

創立五十周年記念式典

日時 平成三年五月十九日（日） 午後一時より
場所 盛岡市八幡宮境内、桜会館一階大ホール
主催 社団法人岩手県鍼灸按摩マッサージ指圧師会
後援 岩手日報社
出席者 会員 七十四名
来賓 六名
計 八十名

山本副理事長の司会により、定刻に開会、全員起立のうえ、物故者に一分間の黙禱を捧げた。

開式の辞

実行委員長 鞠子 栄

昭和十六年に岩手県鍼灸按摩マッサージ指圧師会連合会が誕生いたしましたから、今年で丁度五十周年を迎えることになりました。その間、戦中戦後の日本歴史をそのまま歩んできた本会でございます。幸い歴代会長以下、各理事のご活躍によりまして、昭和五十三年に社団法人の許可を得、また私どもが全国規模で運動を続けてまいりました。「あ・は・き法」改正案が国会を通過し、平成二年四月一日より施行される等、非常に本会としても、その進展は躍如たるものがございます。

只今から五十周年記念式典を挙行いたしますことは、本当に喜びに堪えない次第であります。明日からは、思いを新たにして本会発展のため、ご活躍あらんことを祈りまして開式の辞といたします。

式 辞

理事長 下佐 征昭

本日は本会の創立五十周年を迎えるに当たり、県環境保健部長殿を始め諸先生のご臨席を賜り、かくも盛大に挙行することが出来たことを心から感謝申し上げます。

- 3 -

社団法人岩手県鍼灸按摩マッサージ指圧師会は、昭和十六年十二月十六日教育会館において創立総会を開催し、時の衛生課長竹内守之助氏を会長に推挙し、岩手県鍼灸按摩マッサージ師会連合会として発足いたしました。戦中の苦難な時期を越え、戦後の鍼灸施術存廃の危機を脱し、一時も休まず営々と運んでまいりました。

昭和五十三年八月二十八日、社団法人の許可を得、益々の公益事業の推進と会の充実強化に努めてきました。更には、昭和六十三年五月二十五日、按摩、鍼、灸師法の改正が行われ、高卒三年の修業年限の資格を国家資格とし、罰則規定も非常に厳しくなる等、国民の保健医療に寄与すべく名実とも医療分野の一翼を担う責任と、社会の期待に応えて行かなければいけません。かつては鍼灸は、非科学的、非文化的な施術として、顧みられなかったのですが今日は、鍼灸按摩等の手技療法を含む東洋医学に対する関心は、年々高まりを見せ、一般の関心は固くより医学界のそれは一段と強く、臨床医帥でも

鍼の施術を自己の治療採用する向きが急増している。このような現象は日本だけではなく、国際的に盛んになってきている。我々はこの五十周年を機に、更なる研鑽と発展をお誓い申し上げ式辞といたします。ありがとうございました。

受賞者のプロフィール

(社) 全日本鍼灸按摩マッサージ師会 会長賞

北峰 忠志 先生

昭和六十二年本会副理事長に就任。特に保険部を担当され、鍼灸マッサージの保険取り扱い推進に努められております。また、昭和六十三年より消毒薬、白衣等の共同購入の窓口を担当され、業務の衛生向上に努めておられます。

これまで、県師会表彰、一関祉協表彰を受賞されております。

菊地 安夫 先生

昭和四十二年より本会常務理事として務められ、特に保険部を担当。多くの問題に貴重な助言をされ、これまでに県師会表彰、東鍼連表彰、岩手医大表彰等を受賞されています。

三沢 五郎 先生

昭和四十九年より本会常務理事を務められ、総務を担当し常に執行部にて腕を振るい、正に陰の力となっておられる方です。これまでに、県師会表彰、東鍼連表彰等を受賞されています。

- 4 -

加藤 敏勝 先生

昭和三十三年より昭和四十二年まで県北師会代議員として、また昭和四十三年より六十二年まで県北師会長として同師会を代表して本会のために建設的に協力されました。

本会総会においては、名議長としても印象深い方で、これまで県師会表彰、軽米町長賞、岩手県知事賞等を受賞されております。

(社) 岩手県鍼灸按摩マッサージ師会 理事長賞を受賞された方々は次のとおりです。(五十音順)

伊藤 愛子	猪ノ口 富蔵	泉山 助六	板橋 トク
岩城 繁壺	遠田 ツヤ子	及川 成保	刈屋 雅行
木村 一四	工藤 六雄	佐藤 アキ	佐藤 勇二郎
佐藤 良一	佐藤 良一	三枚堂トシ	鈴木 富夫
高橋 啓二	田代 峯雄	千葉キエノ	千葉 孝子
中村 哲夫	中村 強真	畠山 和久	鞠子 栄
鞠子八重子	南川 忠	三原 正一	村上 イワネ
吉田 光一			

(二十九名)

表 彰 状

加 藤 敏 勝 殿

貴殿は岩手県鍼灸按摩マッサージ指圧師会の指導者として至誠一貫会務の遂行と会員の指導に専念せられ貴会今日の隆盛に大きく貢献されたことは万人の等しく認めるところであります

ここにその功績を多とし表彰します

平成三年五月十九日

社団法人全日本鍼灸マッサージ師会

会 長 関 野 光 雄

- 5 -

表 彰 状

泉 山 助 六 殿

あなたは長年にわたり本会発展のために多大の尽力をされました

茲に創立五十周年を迎えるに際しその功績を讃え記念品を贈り表彰します

平成三年五月十九日

社団法人岩手県鍼灸マッサージ指圧師会

理事長 下 佐 征 昭

来賓祝辞

衆議院議員（本会顧問） 小沢 一郎 様

本日ここに社団法人岩手県鍼灸按摩マッサージ指圧師会が、創立五十周年を迎えられ、記念式典が盛大に開催されましたことは、限りない喜びであり、心から御祝申し上げます。

申し上げるまでもなく鍼灸按摩業は、古くから我が国に伝わり長い伝統と歴史のなかに培われて、東洋医学の一分野として、広く人々の生活に根ざしてまいりました。

そして今日、多くの人々がその恩恵に浴していることは、誠に素晴らしいことであり、ここに改めて皆様の日頃のご活躍に対し、衷心より敬意を表する次第であります。

我が国は経済大国と言われて久しくなりますが、その豊さとともに食生活の変化、或いは高齢化、更には地球規模での環境汚染から生じる危機感と複雑になってまいりました。

この様な環境のもとで、三療の果たす役割は、ますます大きくなってきていると思います。そのため

には、鍼灸按摩それぞれの資格の向上を図ることはもとより、今まで以上にその持っている良さを、多くの人々に知ってもらうことも大切なことではないかと思えます。

- 6 -

そのような意味で、創立五十周年の持つ意義は誠に大きなものと思えます。

これを契機として、貴会の大いなる飛躍を期待いたしますとともに、皆様の益々のご健勝を祈念いたしまして御祝の言葉といたします。

岩手県環境保健部長 佐柳 進 様

本日ここに社団法人岩手県鍼灸按摩マッサージ指圧師会創立五十周年記念式典が開催されるに当たり、一言御祝を申し上げます。

社団法人岩手県鍼灸按摩マッサージ指圧師会は、昭和十六年十二月、鍼灸按摩マッサージ指圧の振興発展、学術技能の向上等を目的に、岩手県鍼灸按摩マッサージ指圧師連合会として設立され、以来今日まで地域住民の健康確保にご尽力され、また地域医療の充実と発展のために積極的に取り組んでこられたところであり、そのご努力に対し心から感謝と敬意を申し上げる次第であります。

ご承知のとおり県民の健康水準は、理学技術の進歩、保健医療施策の積極的な推進等により、着実に向上してきたところではありますが、近年の高齢化の進行や疾病構造の変化により、保健医療に対する理解は極めて多様化し、更に高い水準が求められてきており、このような状況下にあつて、来るべき二十一世紀をみて、活力と潤いに満ちた長寿社会岩手の形成を示していく為には、保健医療、福祉の連携を図り、健康増進から疾病の予防診断、治療及びリハビリテーションに至るまでの、包括的、継続的、合理的な保健医療供給態勢の確立に努めなければならないと考えております。

この施策の推進に当たりましては、貴会を始めとする保健、福祉、医療関係団体のご協力が不可欠と存じるところであり、今後とも一層のご尽力を賜りますよう切にお願い申し上げます。

終わりに、貴会におかれましては、本日の記念式典を契機とされ、これまでの実績を踏まえ、新たな展望のもとに益々ご発展を遂げられますよう祈念いたしまして、私の御祝の言葉といたします。

岩手県立盲学校長 野沢 貞男 様

本日は創立五十周年式典にお招きをいただき、御祝の言葉を述べさせていただくことは、誠に喜ばしい限りであります。県鍼灸按摩マッサージ指圧師会が、盲人の方々の生活を中心とした実践指導は、三

- 7 -

療による自立の拠点として私たち学校教育に携わる立場からも、生徒たちに多大の励ましの力添えをいただいていることに、心から感謝申し上げたいと思えます。五十周年記念とともに喜びたいと思えます。

五十年の歴史の重みは、歴代の会長さんを始めとして、本日は表彰いただきました方々並びに関係各位の努力の賜物と信じております。言うまでもなく盲教育は、盲人の実態を知ることが基盤であると思えます。三療は、医療であるということを感じ、県鍼灸按摩マッサージ指圧師会が、二十一世紀に向かって益々発展し、繁栄することを祈念いたしまして、御祝の言葉としたいと思います。

本日は、どうもおめでとうございます。

社会福祉法人岩手県盲人福祉協会理事長 桜井 政太郎 様

創立五十周年を迎えられ心からお喜びを申し上げます。

一口に五十年と申しましても、半世紀にわたる訳であります。長い期間会員の皆様のご努力に対し、心より敬意を表したいと思えます。また只今受賞されたたくさんの方々にも、心より御祝を申し上げます。これまで岩手県盲人福祉協会に対しましても、本会から長い間多大なご協力をいただいております。そのことにつきましても、この場をお借りしてお礼を申し上げます。

東洋医学は長い歴史と伝統を持つものであります。殊に日本に渡来して以来、なかでも戦国、江戸時代にかけて大変発展してきました。しかも、民間の中にたくさんの東洋医学が浸透してきたことは、いろんな歴史的文献を見ても明らかであります。松尾芭蕉の歌に「針立てや 肩に槌打つ 唐衣」があります。松尾芭蕉でもこのような歌を残すということは、民間の中に大変東洋医学そのものが、浸透していることを示していると思えます。「初雪や せめて雀の 三里まで」という可愛い歌があります。また江戸期の古川柳に「番頭は 柱で肩を 揉んでいる」というのがあります。この歌をみて番頭が柱で肩を揉んでいるということは、今でも時折、机の角などで肩を揉んでいる人や、或いは冷蔵庫の角で腰を押さえているとか、そういう風なことが見受けられますけれども、そういう小さな経験がたくさん積み重なってツボが生まれ、また機能現象としての経験が生まれてきたものと思われまます。

東洋医学にも次第に科学的なメスが加えられ、サイエンスとしての東洋医学が再認識されてまいりました。ただ、いくら科学が発達しても、私たちの治療はあくまでも手を用いる療師療法であることには変わりありません。文字通り一口に、それはスキンシップとしての医学でもあると思われまます。その点

- 8 -

投薬の治療と異なり、理論とともに技術とものが大変物を言う世界でもあります。

本会がこれからますます業権を守り、更にそれを拡大発展させて行くものと思ひ、その事を重ねて願っております。国民の健康保持増進と医療の一分野としての発展を心から祈念申し上げます。最後にもう一度、五十年の歩みを通じこれまで業界で活躍された、たくさんの先輩たちの業績を讃え、会員皆様の長年にわたるご苦勞に感謝申し上げ、社会福祉法人岩手県盲人福祉協会としてのご挨拶に替えさせていただきます。ありがとうございました。

祝 電

衆議院議員 小沢 一郎 様

創立五十周年を心より御祝申し上げます。長年にわたり国民医療の一翼を担い、保健衛生にご尽力賜りました関係各位に敬意を表し、今後益々のご隆盛と皆様のご健勝をお祈りいたします。

社団法人全日本鍼灸マッサージ師会

会 長 関野 光雄 様

社団法人岩手県盲人福祉協議会 様

東北各師会長 様

より、丁重な祝電を頂戴いたしました。

謝 辞

受賞者代表 加藤 敏勝

この度、創立五十周年記念を迎えるにあたり、私たち三十数名がそれぞれ表彰を受けることになりました。長い間会員として会の発展のため、また治療家として地域の医療のため、努力してきたことが認められて表彰を受けますことは、私たちにとって大変名誉あることと悦んでおります。受賞者を代表して心から感謝申し上げます。

今後とも、ますます会員として会の発展のため、また治療家として研修し、技術を磨き、地域の治療活動に専念したいと思っております。

本日は、本当にありがとうございました。簡単ではございますが、謝辞といたします。

- 9 -

記念講演

演 題 「東北の鍼灸マッサージ業の歩み」

講師 社団法人全日本鍼灸マッサージ師会
東北ブロック長 鈴木 重雄 先生

江戸時代には位の高い盲人程立派な杖をつき、罪を侵した盲人は竹杖をつかされた、と面白い話をして会場を沸かせた。明治になると、幕府の援助がなくなり、漢方や鍼灸は民間療法という形になり、殊に盲人は惨めであった。

ところで、按摩は本能的治療であり、防衛的治療で医術の始まりであり、本当は権威の高いもので、これを受け継ぐことが出来たことは誇りである。「医師よりも上である」と、まあ腹の中で力んでください。ここで、熱心に耳を傾けていた会場を笑わせた。

会津若松では、明治二十一年に地方の医師の助言により会を結成したが、会長のことを「取締さん」、役員のことを「世話人さん」と呼んだと、その頃の会の形態を紹介した。明治四十四年には、内務省令による取締規則が交付され、業者には鑑札が与えられ、医療としての道を歩み始めた。

この鑑札交付については、県により講習会や試験を行った所もあった。試験は警察官が行い、盲人には問題を読んでもくれたが、例えば、「ウン、分かるか。ばい菌は何処から入る。障子の穴からか、壁の穴からか、どうだ分かるか」。これに対し「食べ物から」と答えれば「よし」と言われるような簡単なもので、当時の会津若松の警察官の口調を再現し笑わせた。

点字のない時代は、杉山三部書も口移しで教え、免許皆伝という巻物をくれた、と当時の徒弟制度について語られ感慨無量であった。しかし、大正九年には、関係の学校が方々に出来、解剖、生理、病理等の医学を習うようになった。そして、時代は戦争、終戦と移り変わり、昭和二十二年にはマッカーサーによる針灸等の「禁止令」が出た。クレマー大佐の言うのには、日本は世界に優れた医療を持ちながら、何故こういう民間療法があるんだ。医師でもない者が治療をするということは有り得ない、と廃止論を主張したが、福祉に関心のあるジョンソン大佐は、日本の国を歩いてみたが盲人は一人も見当たらない。これは、日本は戦争をするために盲人を殺してしまったのだろうか？欧米の常識では、盲人は乞食の代表であるのに、日本では一人もいない。それで、よく調べてみると、盲人は一つの技術を持ち、みんな家の中で生活をしている。これこそが世界一の立派な福祉ではないか。この問題は日本の国と国

会に任せるべきだと主張し、禁止令は解かれたのである。また陳情に加わったある学者は「貴方は髭を剃る時は、目で剃るか、それとも手で剃るか」と聞き、手でみる感覚の素晴らしさを説き、このような特ダネが私どもを救ったとし、頭を下げられて講演を結んだが、会場からは盛大な拍手が沸き、司会の山本副理事長も丁重にお礼の言葉を述べ記念講演の幕を閉じました。

閉式の辞

副理事長 北峰 忠志

(ご臨席を賜った来賓の方々)

衆議院議員 小沢一郎 本会顧問 殿
岩手県環境保健部長 殿
岩手県立盲学校々長 殿
社会福祉法人岩手盲人福祉協会理事長 殿
社団法人 岩手県鍼灸師会長 殿
社団法人 全日本鍼灸按摩マッサージ師会
東北ブロック長 殿

来賓の各先生方のご臨席を賜り、また岩手日報社のご後援をいただきまして、本会創立五十周年の記念式典をこのように盛大に、そして厳粛に執り行われましたことは、本会にとって大きな喜びでございます。私どもは、この喜びを出発点として更に前進させ、本日のスローガンにもございますように、自らを高め福祉社会に貢献していく覚悟でございます。

本日ご臨席の先生方には、今後とも一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます次第であ

ります。

これもちまして、(社)岩手県鍼灸按摩マッサージ指圧師会創立五十周年記念式典の閉式の辞といたします。

歴代会長名簿

	会長指名	所属師会	就任期間(年度)
初代	竹内 守之助	県衛生課長	昭和 16 年～17
2代	柴内 魁三	盲学校長	昭和 18 年～21 年(11 月)
3代	吉家 松寿	一 関	昭和 21 年(11 月)～25 年
4代	藤井 初太郎	花 巻	昭和 26 年～27 年
5代	石川 円作	胆 江	昭和 28 年～33 年
6代	山本 近	盛 岡	昭和 34 年～37 年(6 月)

36年度後半は菅野氏会長代行

7代	菅野 長治	盲学校教諭	昭和 37 年～48 年
8代	石川 文治	胆 江	昭和 49 年～61 年
9代	越本 政男	釜 石	昭和 62 年～昭和 62 年
10代	下佐 征昭	盲学校教諭	平成元年～現在

(社) 岩手県鍼灸按摩マッサージ指圧師会 平成三年度 庶務日誌

総務部長 中村 哲夫

- 4・21 厚生大臣指定講習会開講式が、盛岡市総合福祉センターで行われた。関係団体から、三五二名の受講者生は 12 月まで毎月一回講習会に出で受講することになった。
- 5・12～13 全鍼師会定期総会が東京で開催。下佐理事長が出席。
- 5・19 平成 3 年度県通常総会並びに創立 50 周年記念式典を盛岡市桜会館にて開催。
- 5・22 県医務課に通常総会議事録と関係書類を提出。
- 6・ 8 一関師会創立 75 周年記念式典に祝電を打つ。
- 6・16 東鍼連水沢大会実行委員会の打合せ会を盛岡市総合福祉センターにて開催。
- 7・7～8 東鍼連岩手大会が水沢市翠明荘にて開催。午前 11 時より師会長会議、午後 1 時より代議員総会が行われた。参加者 一五三名 本県より五六名出席
- 8・ 5 事務局会議を盛岡市盲人ホームにて午後 6 時から開催。

- 12 -

- 8・11 常務理事会を盛岡市「リフホテル」にて午前 11 時より開催。
- 9・ 5 秋田県師会創立 50 周年記念式典に祝電を打つ。
- 9・ 8 医業類似行為に関する厚生省通達を各師会に送付。
- 9・ 9 矢巾町での一般町民向け鍼灸マッサージ公開講座に講師として下佐理事長を派遣。
- 9・10 法務局に役員改選に伴う法人登記を提出、受理される。
- 9・29 学術研修会が盲学校にて開催。出席者 80 名。
講師 星 虎雄 先生
演題 「関節疾患の手技と療法」
- 10・11 県医務課より公益法人実態調査があり、関係書類を提出した。
- 10・18 全鍼師会より会員名簿の提出要請があり、確認のうえ送付した。
- 10・31 全国師会長会議が東京の全鍼師会会館にて開催。理事長が出席した。
- 11・ 9 事務局会議を午後 6 時より盲人ホームにて開催。
- 11・21 一関高齢者大学の鍼灸マッサージの公開講座に、講師として下佐理事長を派遣した。
- 12・ 8 厚生大臣指定講習会開講式が、盛岡市総合福祉センターにて行われた。同日、盛岡師会創立 50 周年記念式典に下佐理事長、山本副理事長、鞠子事業部長が出席した。
- 12・15 福島県師会創立 80 周年記念式典並びに東北師会長会議が飯坂温泉「ホテル聚楽」にて開催。下佐理事長が出席した。
- 12・16 東北三療学会が飯坂温泉「ホテル聚楽」にて開催。本会より高橋久喜先生が臨床発表を行った。

平成4年

1・12 常務理事会を宮古市「ホテル舟木」において、午後1時より開催。

3・22 午前10時より盛岡市「リフホテル」において定期理事会を開催。

平成三年度 通常総会報告

事業部 千葉 健一

5月19日 盛岡市桜会館において、午前10時より開会。出席者73名、委任状84名、総会成立。中村総務の司会により、三沢氏の開会宣言に続いて理事長が挨拶をした。その中で、今年度は指定講習会が4月を皮切りに毎月一回12月まで行われる等の話がありました。

続いて県北師会の加藤氏を議長に選出し、議事に入った。11時30分に無事閉会。

- 13 -

議事内容

一、会務報告

類似行為問題について、本部では相当の活動をしている。特に厚生省とは、顧問議員団を通じて活動を続けている。現段階においても陳情等を行っている。

国民年金基金について、高齢化社会を迎え今の生活では年金だけでは、なかなか暮らし難いので、この年金に加入し国民年金に上乘せして、年金を受け取るものであること。

介護費用保険について、これは将来介護を余儀なくされた場合、年金等に支給する保険であります。これからは、福利厚生面に計っていきたい。

全鍼師会代議員総会において、会費の値上げが決まりました。通常四五〇〇円が六〇〇〇円になったが、本会においては、理事会が終わっておりますので、今年度はこのままで、来年度以降については改めて値上げ案を上程したいとの見解が示された。

二、各会議等の報告については、会報を参照されたい。

三、各部会報告

事業部

会報23号、点字、墨字版の発行。

老人施設の慰問治療奉仕については、10師会が実施した。

保険部

全鍼師会を窓口、国家公務員共済団体と協定を結び申請書の用紙ができました。県内でも、国保と老人保険の団体協定を結びたいと交渉中であります。

その他消毒薬、白衣等の値段が変わりました。

四、平成二年度 決算報告並びに監査報告

七十三万三千九百二十円を三年度に繰り越すことを報告、承認された。

五、平成三年度 事業計画案

- (1) 各種会議の開催
- (2) 各種大会への参加
- (3) 老人医療施設への治療奉仕活動

(5) 会報 24 号、点字・墨字版の発行。併せて 50 周年記念式典の増大号を発行したいので、皆様のご協力をお願いします。

六、平成三年度 予算案

(総額 二百六十万三千九百二十円) 案が示され、承認された。

七、東鍼連岩手大会について

胆江師会の高橋師会長より、詳しい内容について説明があり、一人でも多くの方々の参加をお願いしたいとの要請があった。

- 14 -

八、平成四年度 通常総会について

宮古下閉伊師会長中村氏より、引き受けるとの内容が伝えられ、万雷の拍手で承認された。

九、その他

一会員より、カイロ等の広告制限に関する質問が出され、理事長から検討するとの解答があった。

十、役員改選について

会員より、今年は重要事項が山積しているため、「留任」と言う声があり、承認された。

以上、午後 1 時に総会終了。

創立五十周年記念式典（二階大広間）午後 2 時 30 分より、鞠子実行委員長の司会により、盛大に祝賀会が催され午後 3 時 30 分無事終了した。

平成三年度 保険部報告

保険部長 北峰 忠志

一、保険取扱いの近況について

鍼灸マッサージによる保険取扱いは、業界の切なる願いでもあり長年の願いでもあるが、同意書又は診断書の添付という絶対的枠があり、そのために思うような成績を上げることが出来ないのが現状である。

しかし、県によっては何億とか何千万とか、優れた成績を上げている県もあり、これはやはりその人たちの勇気と努力によるものと思う。当保険部も岩保全と協力して、この対策を研究模索しているが、何とんでも同意書又は診断書の容易な入手である。

たとえ不毛の地でも耕すことにより、何かが収穫出来ると思う。私どもは大いに勇気を振るい、患者に保険利用の指導をして成績を上げていくことは、患者の負担が軽くなることであり、それは患者の利益でもあり業務の発展にもつながるものである。

この度、厚生大臣指定講習会が開かれ、私どもはこれを受講したが、この受講が保険取扱いの伸展につながるものであるよう期待するものである。

二、健保料金について

鍼灸按摩マッサージの保険取扱い料金は平成 2 年 6 月 1 日に改定され、この料金については平成二年度発行の会報に掲載されているので、それを参考にしていきたい。

三、老人福祉治療について

老人福祉治療とは、老人に対する鍼灸按摩マッサージ施術料金の一部を公費助成する制度で、岩手

県では一関・花泉の市町で昭和 61 年より実施になっている。

-15-

花泉町では、今年 4 月から一人につき年間五百円券が 2 枚だったものが、6 枚に増やされた。

一関市では、同じく 2 枚が 4 枚に増やされ老人から喜ばれている。青森市や能代市では、より多く交付されているので、今後更に陳情をし、まだこの制度を実施していない地区は公益事業の一貫として、また老人福祉のためにも、この制度を実施されるよう望んでいる。

四、岩保会からの報告

岩保会は昨年より国保連と接触をして、保険取扱いの推進に努力をしているところであるが、当面の方針として次のことが挙げられる。

- (1) 出来るだけ患者に保険を利用してもらうよう、同意書又は診断書の入手を指導すること。
- (2) 保険取扱いにあたって、何かトラブルが起きた場合は、岩保会の保険部に連絡をしてもらいたいこと。
- (3) 視力障害のため申請書が書けない場合は、岩保会の保険部長大友先生が代筆をするので、申し出られたいこと。なお、この度の役員改選では石川先生が会長を退任され、私、北峰が新会長に選ばれましたので、皆様のご鞭撻を心よりお願いいたします。

次に、岩保会調査による平成二年度の県内保険取扱い事業は、次のとおりである。

政管 8 件、共済 3 件、国保 16 件、老人 2 件。

労災なし、生保なし。合計 29 件、八十二万六千百七十円。

五、消毒薬等の取扱いについて

平成三年度は湾岸戦争のあおりで物価が上がり、消毒薬等もその影響を受けたが、その後は現在のように落ち着いている。

なお、平成四年度の価格表は、点字・墨字ともに別に作成して配布いたしますが、業務にあたっては消毒と衛生に注意を払い、感謝の信頼を一層高めるよう努めていただきたい。

平成三年度 全国師会長会議報告

理事長 下佐 征昭

平成 3 年 10 月 31 日、午後 1 時、全国 47 都道府県師会中、41 師会が出席し、東京四谷の全鍼師会会館において全国師会長会議が開催された。

関野会長挨拶に続き、議長に伊藤由尋（三重県師会長）を選出し会議に入った。

一、報告事項

- (1) 手技療法セミナーの実施計画について

11 月 10 日～11 日に浜松市にて開催予定。

- 16 -

- (2) あ・は・き推進協の活動状況報告について

カイロについて問題が集中したが、本部通達を活かす運動をすることが大切であり、カイロの法

律制定の動きには厚生省見解では、立法はしないし、本会でも認めないと言明した。

(3) 類似行為対策特別委と健保推進特別委員会報告

類似行為で問題になるもの、ならないものの線引と実害の実態調査を厚生省で行う。昭和 35 年の最高裁判例がネックとなっている。本部の実害一一〇番の活動経過の報告があった。

カイロは按摩の範疇であり、厚生省でも科学的でないと言っている。

健保問題については、懸案の NTT 共済等との窓口一本化が推進協で協議されているが、業界の意志統一がなされず、協定が結ばれていない。今後も努力する。

(4) 法人化 10 周年記念事業計画に関する報告

①平成 4 年 5 月 11 日 全共ビルにおいて記念式典を挙げる。会費は一万五千元。なお、祝辞、式典、感謝状贈呈、祝宴がその内容である。

②記念誌の編集、発行

③訪中団の結成

(5) 来年施行の参議院選挙には、元厚生省社会局長・長尾立子氏（自民党）を推薦することが報告された。

二、協議事項

(1) 国民年金基金設立の促進について

東洋信託より説明があり、目標達成できるよう強く要請があった。

(2) あ・は・き法の広告制限緩和について

標榜権の拡大について厚生省に実現を強く要求することを丁承した。

(3) 日東医学会の開催資金不足について

各県に助成の要請があり、その要請方法について質疑がなされた。これに対して、同席の関野会長から、日鍼会は鍼灸の専門団体なので、こちらの要請に乗ってこない。日東医学会は師会長宛の要請文で会員に徹底できると思っている、旨の答弁があった。

三、五十億円基金に対する各県師会の対応について

各県から、構想の具体性がないので、会員を説得することは出来ない。弱小師会の多い東北では、県の師会会館もまだ出来ない状況で、もしこれを押し進めると退会者が続出することが予想される等、反対意見が多数を占めた。

これに対し関野会長は、このままでは医界で取り残される。独り立ちするためにも、是非必要で

- 17 -

ある。業権確保のため理解していただきたい、と述べた。

いずれ、来年度総会でどのような対策が出されるのか充分討議を深めていただきたいと思う。

四、来年度開催の厚生大臣指定講習会について

東北では宮城県が実施する。現在まで二九〇名の申込みがあり、本県からは二名位いるようだ。

五、平成五年度開催の東鍼連総会について

(1) 山形で開催することに決定していたが、事情により福島開催に変更することが了承された。

(2) 平成四年度は宮城県松島で 7 月 5 日に開催することとなった。会費は一万二千元。

当初は、秋保温泉の「ニュー水戸屋」であったが、費用の面で折り合わず変更となった。

以上、会議の概要を報告します。

平成三年度東鍼連第二回理事会報告

理事長 下佐 征昭

標記の会議が平成3年12月15日、午後4時から福島市飯坂温泉「ホテル聚楽」において開催された。この日は福島県鍼灸按摩マッサージ師会創立80周年法人化20周年の記念式典が当会場で午後1時より盛大かつ厳粛に挙行され、国会議員、県議員、行政の関係者及び東北の師会長が来賓として招待され記念事業に参加した。この合間を縫って師会長会議が行われました。

一、今年度の学術大会（翌日16日）に関する経費について

例年どおりの諸経費で支出する旨の説明があり、了承された。

二、各県師会の東鍼連及び全鍼師会に対する要望について

カイロ問題に対する運動の進め方については、日鍼会とタイアップして進め、本部から厚生省に各県警察への要請が必要である。

三、五十億基金の造成について

関野会長が、なぜ五十億基金が必要かを説明。これに対して「積立か寄付か、又は拠出金なのか」「会費の方法を検討」「退会者が続出する」「主旨賛成」「拠出金を少なく」「鍼灸の科学性をつけるため、是非必要」「金の集め方に問題」「金は本人の自由権あり、組織の決定でも無理。緩やかな集め方も一方法」「毎月二千五百円を10年間でなく、徴収方法を多様化し検討し直す」等々、賛否両論が出された。来年の総会に提出し、議論することとして熱気に満ちた会議が終了した。

以上

- 18 -

平成三年度東鍼連代議員総会報告

事業部長 鞠子 栄

第四十五回東鍼連代議員総会は、平成3年7月7～8日の両日、岩手県鍼灸按摩師会の主催で開催された。

場所	水沢市	「ホテル翠明荘」
日程	午前11時～	東鍼連師会長会議
	午後1時30分	代議員総会
	午後3時30分	特別講演
		講師 全鍼師会会長 関野光雄先生
		演題 「三療の現状と今後の課題」
	午後6時～8時	懇親会
8日	午前9時～11時	研修会
		司会 北峰忠志
		講師 全鍼師会会長 関野光雄先生
		演題 「腰椎の病態と東西医学における物理療法のテクニック」

代議員総会の概要

司会 山本孝一 中村哲夫

- 一、開会宣言
- 二、東鍼連会長挨拶
- 三、主管県師会会長挨拶
- 四、全鍼師会会長挨拶
- 五、来賓祝辞、祝電披露

議長団に鞠子栄（岩手）柿沼正良（宮城）を選出

六、議 事

- (1) 平成二年度 会務報告の承認
- (2) 平成二年度 各県師会活動状況報告の承認
- (3) 平成二年度 決算（監査報告）の承認
- (4) 平成三年度 事業計画案の承認
- (5) 平成三年度 予算案の承認

七、次期総会開催県の上野照氏より挨拶があり、宮城県の当番で開催することを、満場一致で承認。

八、その他の事項を審議し、三時に閉会した。

会員出席者 一五二名（本県出席者数 五十六名）

- 19 -

厚生大臣指定講習会受講者数と団体名

(平成3年10月調査)

団体名	受講者総数	あま指課程	鍼灸課程	あま指鍼灸課程
岩手県鍼灸師会	27	0	16	11
岩手県鍼灸按摩マッサージ指圧師会	59	14	14	11
岩手県盲人福祉協会 全国盲学校理療科教員 連盟	70	25	3	42
全国病院理学療法協会 岩手支部	150	83	3	68
会員外	42	25	5	12
合計	352	147	41	164

10月・11月と12月（午前）の受講者数 → 205名

- 20 -

厚生大臣指定講習会時間割

岩手県講習会実施協議会

時 間 月 日		開講式	9 : 00	10 : 00	11 : 00	12 : 00	会 場
		昼休み	13 : 00	14 : 00	15 : 00	16 : 00	
1	4月21日(日)	開講式	衛生学・公衆衛生学 【共通科目】 岩手県保健予防課医務主幹 課長補佐 六本木 義光				盛岡市総合福祉センター 4階講堂 盛岡市若園町2-2 電話 51-1000
		昼休み	医療概論 【共通科目】 岩手リハビリ学院 学院長 切替 辰哉		あんま理論 【あま指課程】 岩手県立盲学校 教員 下佐 征昭		
2	5月12日(日)	開講式	臨床医学総論・各論(神経内科・脳外科) 【共通科目】 岩手医科大学 整形外科学講座 講師 猪又 義男				同 上
		昼休み	臨床医学各論(臨床心理) 岩手医科大学 リハビリテーション室 技師長 堀口 三蔵		あんま理論 【あま指課程】 岩手県立盲学校 教員 鷺坂 和明		
3	6月16日(日)	開講式	生理学 【共通科目】 岩手医大 生理学第1講座 嘱託講師 佐々木 和彦				同 上
		昼休み	臨床医学各論(麻酔科) 【共通科目】 岩手医大麻酔学講座講師 岡田 弘		生理学 【共通科目】 岩手医大 生理学第1講座 嘱託講師 佐々木 和彦		
4	7月21日(日)	開講式	病理学概論 【共通科目】 岩手医大 病理学第1講座 嘱託講師 西尾 泰徳				同 上
		昼休み	臨床医学各論(老年医学・心身医学) 【共通科目】 (財)岩手済世医会 中津川病院 病院長 島崎 吉夫				
5	8月25日(日)	開講式	解剖学 【共通科目】 岩手医科大学 整形外科学講座 助教授 本田 恵				同 上
		昼休み	解剖学 【共通科目】 岩手医科大学 整形外科学講座 助教授 本田 恵		生理学 【共通科目】 岩手医大 生理学第1講座 嘱託講師 佐々木 和彦		
6	9月8日(日)	開講式	東洋医学臨床論(整形外科・在宅ケア) 【あま指課程】 岩手医科大学 リハビリテーション室 技師長 堀口 三蔵				同 上
		昼休み	東洋医学臨床論 【あま指課程】 岩手県立盲学校教員 小島 伸公				
7	10月20日(日)	開講式	東洋医学概論 【はり・きゅう課程】 筑波大学 心身障害学系 助教授 長尾 栄一				同 上
		昼休み	東洋医学概論 【はり・きゅう課程】 筑波大学 心身障害学系 助教授 長尾 栄一				
8	11月17日(日)	開講式	東洋医学臨床論 【はり・きゅう課程】 筑波技術短期大学 教授 西條 一止				同 上
		昼休み	東洋医学臨床論 【はり・きゅう課程】 筑波技術短期大学 教授 西條 一止				
9	12月8日(日)	開講式	はり・きゅう理論 【はり・きゅう課程】 岩手県立盲学校 教員 佐藤 正彦・桜井 政太郎				同 上
		昼休み	リハビリテーション医学 【共通科目】 岩手医科大学 リハビリテーション室 技師長 堀口 三蔵		終講式		

* 【共通科目】とは、【あんまマッサージ指圧師課程】【はり・きゅう課程】【あんまマッサージ指圧師・はり師・きゅう師課程】3科共通の科目です。

厚生大臣指定講習会を終えて

事業部長 鞠子 栄

鍼灸マッサージ業会の歴史に永く残る新法に基づく、厚生大臣指定講習会は岩手県においては、盛岡市の総合福祉センターを会場に、平成三年桜の花咲く四月二十一日開講になり、五月、梅雨、盛夏そして紅葉の季節を経て、最終日は大雪となった。同十二月八日に最後の講習……

終了の後、閉講式が行われたが、本部役員も受講者も閉講式を迎えたことを喜び合っていた。この閉講式では、最後を飾り岩手県按師会の北峰副理事長が、四団体を代表し心のこもった謝辞を次のように述べたが、会場には深い余韻を残した。

謝 辞

受講生代表 北峰 忠志

この度、新法により厚生大臣指定講習会が、岩手県においてもこの四月より開講になり、実に九回にわたり一堂のもと業会を挙げて受講してまいりましたが、初めは至難とも思われたこの講習会も、その都度興味ある講義も、熱のあるご指導により、アツという間に過ぎてしまった感じがいたします。

しかし、意欲に燃える受講生が三五〇名にも及ぶ大きな講習会でありますので、この企画運営に当たられた協議会の皆様のご苦勞は大変なものであったと思います。更には講師の先生との折衝、そしてその歓送迎、会場や昼食の準備とその後始末、また中央との連絡等一つの失敗もなく、盛会、成功のうちに今日の日を迎えましたことは、一に協議会の皆様のご尽力によるもので、私ども受講生一同は心より御礼を申し上げるものでございます。

私ども受講生は、今日ここにいただきました講習会修了証書のもとに、更に一層の学術向上を期し、この講習会が意義深いものになるよう努めるとともに、国民の身近な医業として、岩手の鍼灸マッサージを背負っていくべく努めてまいります。

今回閉講式を迎えるに当たりまして、講師の先生方、協議会の皆様、更にはお手伝いをいただきました皆様に厚く御礼を申し上げまして謝辞といたします。

東北三療学術大会の報告

岩手代表 高橋 久喜（一関）

期 日 平成3年12月16日 午前9時より
場 所 福島県 飯坂温泉「ホテル聚楽」
出席者 60名

各県より一名の研究発表があり、その後、関野光雄会長の講演がありました。

<ストレス性腰痛症>

腰部の疼痛には、原因の様々なものがあるが、原因の明らかな腰痛に対しては、それぞれの病名が付く。ただし、原因の明らかな腰痛も少なくない。これらを総称して腰痛症という。

私のお話いたしますストレス性腰痛症とは、自律神経の乱れからくる腰部の疼痛であります。自律神経の中樞は視床下部にある求心性神経で、末梢から集められた情報は視床下部に伝えられ、副腎皮質刺激ホルモンが下垂体前葉から出る血圧、血糖、神経調整等、常に平衡を保つように働く。

こうした自律神経の代表的なものは、迷走神経と骨盤内臓神経である。実は私がこれからお話するのは、この骨盤内臓神経の異常興奮による激しい腰痛であります。

さて、世の中、右を見ても左を見てもストレスばかり、原因不明の難病、慢性ストレス性無気力症候群など、正に現代は真剣にこの問題に取り組む時期にきていると言えましょう。最近こうした腰痛が増えている。

<例1> A氏は大手コンピュータ会社で勤続18年、37歳。彼が私の治療院に来て5年になる。問診を試みた。疲れると腰が痛い。夜、眠くなると痛む。朝、目が醒めても疼痛があつて、なかなか起きられない。ここに来る前は、病院を転々と歩いたようで、医師に「脊中の曲線も非常に良い椎骨の一つ一つ、椎間板との間隔も良い。」と言われ検査の結果、座骨神経痛と診断された。

ブロック注射は、上後腸骨棘と大転子を結ぶ線の中点にされたようです。その時は治ったような気がするだけで、次の日にはもう痛む。腰椎牽引を20kgで10分引いたら、動くも歩くも出来ない。かなり休んで帰ってきた。一日3交代で働く彼は、夜中1時に勤務しあさ9時頃帰る残業もある。彼はストレス解消に、ロックバンドを結成しジャカジャカやる。その後、同僚とハシゴする。ストレス解消が、かえって逆に作用している。このような腰痛は、他にオペレーター、飲食業等。

<例2> こんな事があつた。マージャンで付き合いのいい男が、急にツキに見放され始めた。あれよあれよと云う間に顔がグニャリと曲がった。みんな大笑いをした。そして腰が激しく痛み出し、私の所に来たのである。マージャンもかなりのストレスになり得る。

また、<例1>のA氏の話に戻る。彼は完璧なストレス症候群にかかっている様子で、腰痛もかなり

- 23 -

の疼痛のようである。この腰痛の特徴は、いわゆる椎間板ヘルニアのように重い物を持ち上げようとしてギクッと急性に疼痛がくるのではなく、ストレス性の腰痛の場合、腰が立ったり座ったりする時に、何となく重苦しい腰に疲労感がある。朝に夕に時々痛む、とまあ、意識をしていればこの変化には必ず気が付く。また、腰椎がいかに立派でも緩やかに進行し急激に痛み出す。

ヘルニアの腰痛は、左右どちらか一方にあり、それを自覚できるが、ストレス性の場合、痛みがそんなに酷くない時などは、痛みの場所が特定できない。牽引は禁忌である。

この患者の場合、目が重苦しい頭重頭痛、集中力減退、胸やけ、便秘、目眩等の自覚症状がある。両前腕に腱鞘炎あり、頸椎後面僧帽筋の起始部、外後頭隆起から全胸椎の両側を下る同じく起始部、膀胱経第一側線にあたる。更に、脊椎起立筋の起始部にまで下るこれらの筋の全体が固く、所々に圧痛がみられる。

治療の前に心掛けることは、これによって副交感神経叢が緊張し激痛となる。この患者の場合、長いストレスのため血糖は血液中で高めになっていただろうと思う。血圧の上昇、交感神経緊張、毛細血管最小血管の流れは悪くなり中枢神経にまで悪い影響を与える。そのため筋肉は固くなり、身体全体が疲

れやすくなる。特に一日中緊張している脊椎起立筋は、線維化が進む。こうした血流の滞ることを於血（オケツ）と云う。そして、いつの日か心の割と安定する朝とか夜に、急激に痛み出し、弱っている脊椎起立筋が痛々しきや疼痛を増加させる。

○鍼治療について

まず、自律神経の回復に重点をおく。

- ・合谷、三里—視床下部の血流を良くし、迷走神経、特に内臓の働きを良くする。
- ・曲池—インシュリンの分泌を促す。血液の流れを良くする。気を整える。
- ・腎経：然谷、復溜、交信、築賓—下腹部の冷え、精力減退、疾患に
- ・脾経：三陰交、漏谷、地機、陰陵泉—自律系統の回復、腰痛の緩和
- ・胃経：三里
- ・膀胱経：風門—胃愈、腎愈、大腸愈、小腸愈にもそれぞれ打つ。筋肉の回復、腰痛の緩和
- ・膀胱経：殷門—腰痛の緩和、中程度の圧迫。大椎の各穴

彼はこのような治療で全快した。年に一〜二度、今でも通院し健康の大切さをしみじみ語って帰る。

- 24 -

この疾患は、精神に影響をもつことがある。また、老人性痴呆や成人病の誘因になることは十分考えられる。今後の暮らしのアドバイスなどを通して、相互の信頼関係を持てる。それが医の誠であると信じるものである。

学術研修会

副理事長 山本 孝一

日 時 9月29日 午前9時30分より
場 所 盲学校 視聴覚室・按摩室
主 催 盲人福祉協会、盲学校同窓会の共催
講 師 星 虎男 先生 社会福祉法人「賛育会」
マイホームはるみりハビリテーション部長
演 題 「関節痛に対する手技療法」

昭和36年	東京教育大学 教員養成施設卒業
	・長野盲学校・福島盲学校を経て
平成3年3月	筑波大付属盲学校（理学療法科主任）退職

台風19号が大暴れして過ぎ去った、9月29日に開催された。出席者は、厚生大臣指定講習会が行われている最中でもあり、また、前日の台風の為か例年よりやや少ないようだった。

午後は按摩室において肩関節、膝関節のモビリゼーションやPNFストレッチの実技が指導され、北峰副理事長の謝辞があり、午後3時に終了しました。

<AKA—関節運動学的アプローチ>

関節包内運動の改善を目的とした手技療法で、関節機能障害として放散痛、しびれ、スパズムなどを

取り除き、無理なく関節の動きを改善し、スムーズな関節運動を引き出そうとする方法である。

○軟部組織モビリゼーション (STM)

いわゆる軟部組織と云われる関節包靭帯、筋膜などをマッサージする方法である。

○神経生理学的手技療法 (NPA)

運動動作の基盤となる姿勢反射、筋の固有受容器、神経の機能を総合的に調整する目的で行われる手技療法である。ポーバース法、PNF が日本では定着している。

○PNF ストレッチ

結合組織—筋—腱ユニットを他動的にストレッチすることにより、無理なくその調整を図ることが出

- 25 -

来る方法である。

「筋の最大のリラクゼーションは、筋の最大の緊張を引き出す」と云う、神経生理学的理論に基づいているもので、相互神経支配による拮抗筋の最大収縮は、主動筋のリラックスを引き出すことが出来るのである。

平成四年度 岩手県鍼灸按摩マッサージ指圧師会 通常総会のご案内

日 時 平成4年5月24日(日)

午後1時～4時 総会

午後6時～8時 懇親会

場 所 宮古市鍛ヶ崎上町7-22

電話 0193-62-2876

会 費 1泊2食付き(懇親会を含む) 13,000円

日帰り(懇親会を含む) 8,000円

昼 食 300円 ご希望の方は、師会長が取りまとめの上、お申し込みください。

参加申込 ご出席の方は、各師会長を經由して(4月30日まで)お申し込みください。

交 通 バスは、11時40分と12時の2本、列車到着時刻に合わせて、お出迎えいたします。

各師会の活動状況並びに会員の消息

「盛岡師会」

総務部 阿部 禎夫

平成三年と云う年も色々な歴史を残して暮れようとしています。バブル経済の崩壊、普賢岳の噴火、台風による膨大な被害等々、そして我々の身近なものとして、厚生大臣指定講習会の実施など、それぞれ生きていることを実感させられた年でした。会員諸兄もそれぞれの感慨で受け止められたことと思います。

我々盛岡師会においても、会員それぞれの持ち場で一生懸命頑張っております。以下、平成三年度に

おける師会の主な活動状況を月次に沿って報告し、「師会だより」といたします。

- 4月 盛岡師会通常総会を開催
- ・平成二年度 経過報告並びに決算報告
 - ・平成三年度 活動計画並びに予算案の審議
 - ・役員改選（全員留任）
- 5・19 岩手県師会通常総会並びに50周年記念式典開催
場所 盛岡市八幡町 さくら会館

- 26 -

- 7・7 東鍼連第45回総会 岩手大会開催
場所 水沢市 翠明荘
- 10・6 老人福祉ボランティア実施
場所 西厨川老人福祉センター
7人参加、19人施術 感謝される
- 12・8 忘年会及び50周年記念懇親会を開催
場所 盛岡駅前通「せきれい荘」
50周年記念誌発行 以上

☆会員名簿訂正の連絡

創立50周年記念「会員名簿」（平・3・3・1現在）の盛岡師会の名簿中、次の方々の住所、郵便番号等に誤りがありましたので、訂正をお願いします。

記

- 木村 一四 岩手郡葛巻町葛巻十三一十三一三二二
田代 峯雄 〒020-05 岩手郡雫石町鶯宿七一二五
下佐 征昭 〒020-01
中村 哲夫 〒020-01 盛岡市緑が丘二丁目一―二四
山下 シズ 盛岡市長田町二〇―二三 たから荘
山本 ミヤ 盛岡市本町通二丁目三―二二
吉田 満 岩手郡松尾村寄木一―五九〇―七
山佐 文男 電話 〇一九六―六一―一四二八

「業界の認識を広げる手立てを考えたい」

阿部 禎夫

最近の朝日新聞（平成3年10月15日付）に、次のような見出しの記事が掲載されていた。「中年サラリーマンの7割に腰痛」そして、サブタイトルが「悩むにつれて老け込みやすい」と。その調査機関は製薬会社（田辺製薬株）であり、東京と大阪の40～50代のサラリーマン千人のアンケート調査の結果だと云う。

サラリーマンを悩ます持病のトップは、「腰痛」で「初めて腰痛を体験した時期」の平均年齢は34.5才であり、体験者の69%が日常生活に支障をきたしており、「勤めを休んだ」とある。

重症者も2割あり、腰痛持ちの半数は、何らかの形で病院若しくは治療院にかかったのだそうである。

そうした経験者の「腰痛」の対応策は

- | | |
|-------------------|-----|
| 1 疲労を溜めないこと | 34% |
| 2 適当に運動すること | 32% |
| 3 正しい姿勢をとること | 31% |
| 4 よく歩くこと | 27% |
| 5 重い物を持たないこと | 25% |
| 6 長い時間同じ姿勢を続けないこと | 25% |

- 27 -

と、なつたと云う。なお、腰痛体験者の内、肥満者腰痛が78%あり、標準体型者より10%以上多いが、腰痛が太り過ぎが原因である、と認識している人は以外に少なく37%弱に過ぎなかった。と概ね以上のような記事であった。

以前から「肩こり」「腰痛」は、日本人の持病だと、よく云われていることの裏付けを見せつけられたようだ。こうした実態をみて、その種の治療に携わる我々としては、どう受けとめるべきか、いささか考えさせられる。

また、わが国の65歳以上の高齢者は10%余りで、21世紀の初めには2,134万人となり全人口の16.3%と高齢化が進んでいく。平均寿命の延長とともに、高齢者の疾病の予防や健康管理が、最近盛んにマスコミ等でも論じられるようになった。

そうした老人疾病の半数以上が、肩・背・胸部の苦痛や関節部分の苦痛を訴えていると云うことも聞く。このようなことを耳にして、その種の救済を業とする我々は、どのような手立てを持って対応すべきなのだろうか？ 詳細データが公的に示されている割には、我々治療者側にその実感の得られないことが、不思議な気がしてならない。

救いを求めている者と、それを待つ者との間に何らかの手立てが、欠けているのではあるまいか。求める側の我々に対する認識の不足もあるだろうし、治療に対する精神的な不安等もあるだろう。

これら諸々の問題があるとしたなら、我々治療者側は、もっと色々の形で積極的に手を差し延べる方法を、考える時期にきているのではないだろうか。

業界の全体のレベルアップと並行して、具体的な対応策を示すことで、半健康人国「日本」の悪名を返上したいものである。

「花巻師会」

広報部

4・14 定期総会を開催「花巻市総合福祉センター」本年度の活動に入りました。

5・19 岩手県鍼灸師会創立50周年記念式典において、当師会の現役3名が表彰を受けました。

6月上旬 「ホテル花巻」において全会員出席のもと、盛大に祝賀会を催しました。

今年は、指定講習会に殆どの会員が受講するため、老人施設等の慰問治療奉仕活動は、10月、11月に集中して行いました。

12月の閉講式には、受講した会員全員が修了証書を受けることが出来、執行部としても安心しまし

た。

- 28 -

平成4年には、当師会創立50周年に当たるので、新年早々準備委員会を発足させ、その準備に入りました。

各師会の皆様、5月24日(日)の宮古下閉伊師会の通常総会において、お逢い出来ることを楽しみにしています。

「北上・和賀師会」

八重樫 昭則

初めに、当師会は昭和16年設立以来、今年で50周年を迎えることが出来ました。50周年式典と祝賀会を平成3年4月7日、北上市翠明荘で(社)県鍼灸師会顧問、菅野長治先生、下佐理事長そして、花巻師会長鞠子先生をお迎えして盛大に開催しました。都合で御出席出来なかった顧問の石川先生、胆江師会長の高橋等先生から心温まる祝電をいただきました。この誌上をお借りして、改めて厚く御礼を申し上げます。長い間師会長を務められた高橋久氏は、50周年を期に本会相談役として、お願いすることになりました。当師会会員には、50周年の重みをズシリと感じます。

今後とも先生方のご指導とご鞭撻を賜りたく、切にお願い申し上げます。

次に、当師会の活動状況をお知らせします。

4・7 平成3年度 総会開催 「翠明荘」

役員改選の結果

会長 八重樫 昭則

副会長 高橋 隆(庶務兼務)

会計 南川 忠

監査 白藤 トク子

相談役 高橋 久

同日 午前11時30分より、当師会50周年記念式典を開催、高橋隆氏の司会で、会長式辞、表彰状及び感謝状の授与、来賓祝辞及び祝電披露、そして高橋久氏が当師会50年の歩みを述べられ、式典は無事終了しました。

12時30分～2時30分 祝賀会を盛大に開催した。

6・5 北上地区老人施設慰問治療を実施(3班編成)。終了後、反省会を開き(北上地区「鳥屋食堂」、西和賀地区「旅館こりん亭」)どちらも和気あいあいのうちに散会しました。

☆会員の消息と展望

- ・南川忠さんは、7月に体調を崩し約4ヶ月間入院。退院後は体調を整えるべく自宅で静養中です。
- ・及川利郎さんは、初孫が生まれて仕事も手につかぬ様子で、毎日のように自宅に通い、可愛がっています。
- ・高橋久さんは、要職から離れ、元気に業務に励んでいます。

終わりに、今年は指定講習会が開講され、ご尽力くださった方々に深く感謝申し上げます。また、本部及び当師会でも創立 50 周年と云う節目の年でもありました。会員のみな様は、どのような一年でしたか。

来年も当師会を宜しくご指導くださるようお願いします。

「胆江師会」

総務部 渡辺 藤朗

今年度は、厚生大臣指定講習会の開講、また第 45 回東鍼連岩手大会が水沢市を会場に開催されたので、事業の大半は年度の後半に集中しました。東鍼連大会は、各県とも指定講習会が開催されているので、例年より参加者が少ないのではないかと云う本部の懸念がありましたが、予想を上回る一五三名の参加をいただき、盛会に終了できましたので、安心しております。

私たち胆江師会一同皆様方を明るく楽しい、そして安らぎのある歓待をと努力したつもりですが、何かと不行き届きの点が多く、ご不便ご迷惑をおかけしたことと思っておりますが、どうぞご容赦願います。

次に、当師会の実施事業及び予定事業を報告致します。

4・14 平成 3 年度総会 午後 1 時より「寺小路集会所」 参加者 21 名（会員 27 名）

議題に付した案件は、原案通り可決されました。役員改選は、全員留任で再選されました。

4・28 第一回役員会 県鍼按摩師会総会及び 50 周年記念式典・祝賀会参加について

事業の推進については、東鍼連大会終了後とする

9・1 第二回役員会

(1) 老人ホーム慰問治療について

計画日時 10 月 27 日 午前 9 時 30 分より

慰問先 「寿水荘」及び「隆生園」とする。

(2) 研修会について

慰問治療終了後、石川文治先生宅において行うことにした。

10・27 老人ホーム慰問治療

11・24 研修会（10・27 分を都合により延期したもの）

テーマ 「テーピング療法について」

第三回役員会

(1) 平成 4 年 新年祝賀会について

(2) 第二回 慰問治療について

日時 平成 4 年 2 月 16 日

訪問先 「寿水荘」及び「隆生園」とする。

(3) 研修会については未定

(4) 第四回役員会は、新対応を協議することとした

☆会員の動向

○新会員の紹介

本会理事のお嬢さんの奈保子さんが入会されました。現在お父さんの許で、三療に情熱を燃やしております。将来期待できる岩手の一人で、赤門出身です。

○氏変更のお知らせ

高橋辰雄・春子夫妻は「佐藤」に変わります。なお、辰雄さんは現在入院中です。

○訃報

12月15日 千葉タカ子さんの住居が全焼し、焼け跡から焼死体となって発見されました。尊い命を失い、謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。合掌

「一関師会」

総務 伊藤 庸一

四月から始まった厚生大臣指定講習会も終了し、修了証書を手にして、忙しい一年だったなあと思っているのは、私だけでしょうか。

例年通りの報告ではありますが、当師会にとってこの一年は師会創立 75 周年、老人福祉治療費増額決定、温泉施設におけるマッサージ治療開始等々、節目になる年でありました。



平成3年10月6日ハーフマラソンにマッサージ協力し
感謝状及び盾を授与された。

- 4・7 通常総会開催。平成三年度活動計画の決定。
- 6・1 出張マッサージ治療開始。一関温泉郷の一つ「真湯山荘」において、マッサージ施術開始。
- 6・2 研修会実施。平泉町東稲山「平泉荘」において、各方面のボランティアの方々を交えながら開催した。
- 6・9 一関師会創立 75 周年記念式典挙行。景観豊かな巖美溪「いつくし園」を会場に、一関市長、一関社会福祉協議会長、高橋等氏、胆江師会長ご夫妻、熊谷勝東磐師会長、千葉健一県師会常務理

★受賞者

- ・業務表彰 大友武志氏、千葉謙一氏、伊藤庸一氏
 - ・永年業務表彰（40年以上の精勤に対し当師会初） 小野寺安治氏、阿部哲夫氏
 - ・特別表彰（会の運営、発展に対する功績を讃え） 磐井清三氏、遊佐貞子氏
- 6・23 慰問治療実施 慰問先 特別養護老人ホーム 「福光園」28名、「関生園」23名。
- 9・15 慰問治療実施 慰問先 特別養護老人ホーム 「福光園」26名、「関生園」21名。
- 9・19 県師会総会、県師会創立50周年記念式典
- ★全国師会長表彰 当師会長 北峰忠志氏
 - ★県師会長表彰 工藤六雄氏、鈴木富男氏
- 今後とも健康に留意し、会発展のため更なるご活躍を期待しております。
- 10・6 協力活動実施
- ・第10回一関国際ハーフマラソン大会にマッサージ協力。一七六名の選手に施術。
10回大会を記念し当師会に対し、大会長（一関市長）より感謝状と金・銀・銅各1個入りの盾を贈呈される。

<活動報告>

- 3年目を迎える一関市老人福祉治療は、初年度は年2回千円助成で開始されましたが、師会、会員、患者さんからの働きかけにより、一関市では平成3年9月26日から4月1日にさかのぼり年4回に、花泉町では7月1日から同じく4月1日に遡って年6階に増額されました。更なる増額に向かい、我々の出来るところから運動を継続していくつもりです。
- カイロプラクティック等の無資格療法の取り締まりに厚生省も思い腰をあげ、その危険性を取り上げ始めた。4月27日付けの「週刊現代」にその危険性を3ページにわたり掲載。また、7月8日付けの読売、毎日、東京、日経等の新聞紙上に、カイロの危険性や厚生省通達を大きな見出しで掲載しております。当地方紙「岩手日日」も7月9日に大きく掲載しております。
今後は、この通達をどのように活用していくかが問題である。当師会でも、昨年リストアップした業者に対し、保健所から指導を要請し数件を改善させております。今後も一層運動を進めていきたいと思っております。

- 32 -

- 12月6日、NHKとNHK文化厚生事業団などが主催した「平成百人一首展」で当師会長の北峰忠志会長が応募した一首「少しでも ためになろうと さぐりつつ 積木トランプ 孫の相手す」が全国入選を果たしました。全応募八千五百二十五首の中から100首が入選という狭き門。本県から会長ただ一人の入選で、12月26日の「岩手日日」に写真入りで掲載されました。
会長は、昭和50年代にも県芸術祭において、随筆と小説部門で入選しております。また、カラオケも上手で、大正琴も弾くと云う多芸に秀でた人物であります。
最後に、今年気になった事柄と独り言を……
- NHKサイエンスドキュメント「東洋医学」の放送。マスコミを通じての、宣伝効果の大きさは、いかばかりか。
- 天皇、皇后両陛下は明治鍼灸大学を視察。当大学に大学院鍼灸学研究科開設。

- 6月28日付け厚生省通達を一読させていただいた。カイロについて危険な手技、誇大広告の禁止等が盛り込まれているが、カイロをしてはいけないと云う記載は見当たらない。また、医業類似行為についても、カイロを取り締まり対象に明言している項目もない。この通達は、現存するカイロ業者を公認しているものとなりはしないか。
- 12月1日の理教連情報号外にカイロについて厚生省の粥川医事課長が「カイロが無免許で開業しても、昭和35年の判例がある以上、取り締まれない。」との解答。これは、どうしたことか？
- 来院患者の話
 - 「1週間30万円の講習で整体を習得した先生に、治療していただいている。気持ち良いので、時々通っている。先生は会社員で、休みの日とか、治療してくれている。会社の月給より収入があると云う。」これは、なんと云うことだ。
- 厚生大臣指定講習会、手にした価値ある修了証書。使用した講習会テキストを開いたら、項目だけ目立ち、まだまだ余白が多い。しっかり受講したはずなのに。
- 厚生省編、全国就業者施術者数について一覧した。業界全体、既に飽和状態。加えて柔整師の高い増加率。過当競争、領域侵害。これは、どうしたらいいのか。
- 関係7団体が諸問題を含みながら団結し、今後は、真に我々末端会員が何を望んでいるか見極め、

- 33 -

大同団結して進んでいくことが、各団体指導者の責務ではあるまいか。そして、業界として、師会として、個人として、なすべきことは？

「東磐師会」

熊谷 勝

今年は、講習会が終わったと思ったら、もう年の暮れ、なんだか多忙な一年になりました。

世の中も大分寒さが増した今日この頃、懐具合もまた寒い。今年は、特に冷夏で米の出来具合もよくない。特に「ササニシキ」は3分の1、「秋田小町」は半作と云う有り様。また、誘致企業は増えたが、やっぱり農業が良くないと景気も悪い。何の商売においても同じである。

その中で、4名の会員は、皆健康で意気盛んである。来年に向けて、体力をつけておきたいものである。各師会の皆様におかれましても、健康で商売に励んでいただきたいものであります。

「気仙師会」

星 千治

平成3年度の当師会は、4月14日大船渡市「養老の滝」において、午後2時より、定期総会を開催。続いて懇親会を行いました。

10月16日には、大船渡市の老人ホーム「富美岡荘」で会員10名で、治療奉仕を行い、その後「養老の滝」で反省会。

12月1日には、陸前高田市の民宿「沼田屋」で忘年会を行い、新しい年を迎えるだけとなりましたが、何よりも嬉しいことは、会員全員が、元気で仕事が出来たと云うことです。

その中で、もう一つ嬉しいことは、4月に半盲の菅原史生（ふみお）さんを新会員として迎えたことです。全盲の多い当師会において、目を借りることが出来、手となり足となって世話をしてくれるので、本当に助かります。会員一同感謝しています。

どうぞ、他の師会の皆様も、益々ご健勝にてご活躍されますよう、心からお祈りしています。

「遠野師会」

菊池 守

私どもの師会は、相変わらず会員3名、元気に地域の皆様の健康維持増進に努めております。

お知らせとしては、平成3年12月より市内電話局番が2ケタになり、次のように変更となりました。
市外局番 〇一九八

- 34 -

多田 弥太郎	六二一三四一九
菊地 孝一	六二一四〇九三
菊池 守	六二一三五六八

「釜石師会」

師会長 佐々木 至

一九九二年を間近にして、その年に思いを馳せる時、夜来の厳しい寒波を連想し、心細さを感じるのは私だけでしょうか。吹雪の音を聞きながら、盲人三療師の明日に限りない不安を感じ、眠れぬ夜を送っているのも私だけでしょうか。

私事で誠に恐縮ですが、2月にア・ハ・キ職種別懇談会に出席のため大阪まで行き、9月には全視協新潟大会に参加して、何れも理療問題、分科会に出て交流してまいりました。

そこでは、都会を中心にもう三療師は、病院の仕事から締め出され、また、色々な事情から新規開業もままならなくなっており、すでにこの傾向は、地方にも波及していると云う厳しい現状の報告がありました。また、三療師の生き残りを掛けて自治体の協力を得て、未熟な三療師の再訓練や協同経営を試みている模様も報告されました。

結論は、もう三療師の生き残る道は、真の資質向上を図らなければならないと云うことでした。

活発な意見や報告を聞いて、自らの未熟さ、努力の不足を痛感して帰ってきた次第です。

釜石師会のこの一年を振り返ってみると、何と云っても「新ア・ハ・キ法」に伴う指定講習会が開かれ、遠い盛岡まで、私を除く会員が受講したことです。会員の皆様には心から感謝申し上げます。

4・18 師会定期総会 「中妻治療院」、熱心に前年度の総括と今年度の計画が討議され、上田会長の辞任に伴う役員改選が行われ

会長 佐々木 至

会計 佐々木 キミ子

庶務 寄松 忠 に決定。

総会後は、盛大に懇親会が開催され、大いに呑みました。

9・29 老人ホーム慰問治療奉仕 「五葉寮」

私は、6人の鍼希望の患者を治療し、東海新聞と河北新報の取材を受け、その模様が新聞に載りました。来年度は、特別養護ホーム「清風園」を慰問の予定。

釜石には、新日鉄の高炉休止に伴う人口減で、我々の仕事にも悪影響があるかに見えましたが、バブ

- 35 -

ルの地方波及の影響と皆さんの優れた経営手腕で、会員の皆様は無事乗り切ることが出来ました。しかし、バブルのはじけた現在そのあおりをモロに被って、中高年を中心に失業者は増大し、不況の影を落とし、今後の我々の暮らしに暗い影を投げかけているのです。

まず、会員の皆様には、健康でこの難関を是非乗り切りたいと願う次第です。

ちょっと身体の不調を訴えて休みがちな寄松さん、家族に病人を抱えて大変な松田さん、頑張ってください。

「宮古・下閉伊師会」

師会長 中村 強眞

私たちの街は、健康増進のためには相応しい所だと思います。森林浴の出来る十二神様があります。重茂半島の断崖絶壁にある「トドケ崎灯台」から眺める景色は、強烈に目に焼き付き、脳を刺激してくれることであらうでしょう。ギラギラ照りつける太陽の下で、裸足になれば足の底にある「湧泉」と云うツボを刺激してくれる砂浜、眠気さえ感じさせるような海鳥の声、そして、死んでも跳ね上りそうな魚、貝、海藻。そうした恵まれた大自然の懐に抱かれて、私たち会員一同は、皆さんの健康を護るために業務に苦しみ、人のために少しでも役立とうと、懸命に努力し学に治療に励んでおります。

また、奉仕活動の一端として、連続17年間「清寿荘」と「平安荘」に慰問治療を行っています。なお、これから奉仕を盛んにするため、どう云うものがあるか、模索中です。

今年起きた残念なことを申せば、元会員の山口ヤスさんが亡くなりました。ご冥福をお祈りいたします。なお、千代川惣五郎さんは、体調を崩し自宅療養中です。箱石龍一さんは、ご年配のせいか、この頃声を聞かせてくれません。

最後になりましたが、平成4年の通常総会の会場として当師会が選ばれ、誠にありがとうございます。会員一同、無事に終了することを願って、只今準備に余念がありません。どうぞ、一人でも多くの方のご参加をお待ちしています。

なお、会員名簿に佐々木孝次君の市外局番を「〇一九三」と届けましたが、「〇一九四」の誤りでした。深くお詫びいたします。

「久慈師会」

師会長 岩本 芳弘

平成3年もあと残すところ数か月となりました。

今年4月からの厚生大臣指定講習会に始まり、会員3名全員受講終了し、修了証書を受け取りホッと一息つき、年末を迎えた。

久慈師会始まって以来、初めて野田村に奉仕活動を実施。役員新山忠義氏の協力により、実施することが出来た。今後、活動範囲を広げていきたいと思う。また、盲協との合同で忘年会を兼ねて懇親会を開催。今後、協力して意見交換を定期的に行うことを決め、和やかに懇談を深めたことは、大変有意義でした。

<活動状況>

平成3年3月31日 定期総会開催 種市町

平成3年10月26日 奉仕活動 会員3名
野田村総合福祉会館 18名に奉仕

12月1日 盲協と合同懇親会 種市町

「県北師会」

広報部

立冬ともなれば、日足も目立って短くなり、何かと気忙しく感じ寂しく思う、今日この頃です。

この間はまた、恐ろしい台風19号により農作物の被害、いいえ農作物だけではなく。屋根を吹き飛ばされたり、窓ガラスを壊されたり、また、物置小屋がしっかり一回転し逆に立っていたとか、大変な被害でした。冬を前に壊れた所の修理、叩き落とされたリンゴの後片付けなど、大変な忙しさのようです。

皆様の所も大変だったのではないのでしょうか。心から御見舞申し上げます。新しい年こそは、皆様にとっても私たちにとっても、良い年であって欲しいものです。

<活動状況>

4月30日 老人福祉センターにおいて、総会開催。

9月17日 マッサージ奉仕活動（浄法寺町福祉センター）

20日 奉仕活動（軽米町公民館）

10月3日 奉仕活動 老人ホーム「白梅荘」と「紅梅荘」「いちい荘」（軽米町）の3班に分かれて活動。

午後は、二戸市の「福せん」で保健所長との懇談会を行いました。

「医業類似行為取り締まり対策について」というテーマで、所長に厚生省から県に通達があった文書を説明していただきました。また、軽米町地区・九戸地区の無免許者の取り締まりについてお願いしました。後日、所長から「担当官が実情を調査中です。よい方向で解決処理したいものと望んでいます。」と云うハガキをいただきました。

また、そのようなことがあったら、貴方がたの仕事を守るためにも、力になるので情報を知らせて欲しいと云うことでした。会員一同心強く思っております。

編集後記

事業部長 鞠子 栄

会報第二十四号を発行いたします。

本年は、四月から十二月まで厚生大臣指定の講習会、五月十九日には本師会創立五十周年記念式典、また、七月には東鍼連岩手大会と年度始めからいろいろな行事が行われたにもかかわらず、会員の皆様に多大なご協力をいただき、ありがとうございました。

なお、会報二十四号の点字版は、五十周年記念式典誌上と二部に分けたので、ご一読ください。

- 38 -

社団法人 岩手県鍼灸按摩マッサージ指圧師会

平成三年度会報 第二十四号

平成四年二月一日発行

発行人 理事長 下佐 征昭

〒020-01 盛岡市箱清水一丁目三十六番五号

電話 (〇一九六) 六一一六二七七

編集責任 常務理事 (事業部長) 鞠子 栄

〒025-03 花巻市大畑二地割二三七番地

電話 (〇一九八) 二七一二九一三

事務所 〒020-01 盛岡市箱清水一丁目三十六番五号

下佐 征昭 方

事務局 理事長 下佐 征昭

電話 (〇一九六) 六一一六二七七

(郵便振替) 岩手県鍼灸按摩マッサージ指圧師会

口座番号 盛岡 (六) 一一九八三三

印刷 岩手印刷 花巻市上町七二〇

電話 (〇一九八) 二四一六一七一

- 39 -

鍼・灸・物療機器各種専門店

スポットビーム紹介

定 価 480,000円
アタッチメント 28,000円
508,000円

光と熱の活性化治療器

特価 400,000円+消費税

スポットビームの性状について

本器の活性物質は、ハロゲン族元素を特殊ガラス管に封入し、近紫外部より遠赤外部までの広い範囲の一定の波長域が得られる光源を放射する治療器です。その波長域には医療用レーザーに使用されている波長も数多く含んでいます。

スポットビームによる治療上の特長

- ①光源のもつエネルギーと熱作用により理想的な理学療法ができます。
- ②従来の理学療法に合わせ、本器を活用することにより治療の応用範囲が広くなり、従来にない併用による独特な治療効果が期待されます。
- ③光の可視部および近・中赤外部による刺激と遠赤外部の熱刺激が同時にできます。
- ④皮下透過度はレーザー光やお灸と同等以上の作用と効果が期待できます。

スポットビームの主な適応(温熱効果)

- ①筋肉・関節等の疼痛の緩解
- ②血行促進
- ③創傷治癒促進(コラーゲン合成)
- ④生理活性物質促進
- ⑤免疫機能増進

分割方法 (リースお申込の場合)

〔例〕 400,000円の場合

5年(60回)分割

月8,900円+消費税×60回

- ◆ その他の物療機器・鍼灸用具も取扱っています。
- ◆ カタログの必要な方はお電話頂ければ送ります。

鍼・灸・物療機器専門店

有限会社 ヤマキン

〒034 青森県十和田市西4番町8-39 電話0176(23)9138

FAX0176(23)9138

○夜間、日曜・祭日でも電話は受付けています。 郵便振替(盛岡)(3)ー597



最高の診療は医師と患者の
限りない“信頼”と深い“愛情”
の上に築かれます。 Dr. Galen

医薬品、医療関連品、医療情報の
総合商社

 株式会社 小田島

〒025-03 岩手県花巻市卸町68番地
☎ (0198) 26-4211(代)